

2016年3月期 連結業績概要

執行役員
山西 哲司

2016年3月期 通期決算のポイント

◆売上高は過去最高を更新し11,523億円

受動部品、フィルム応用製品セグメントで過去最高。
磁気応用製品セグメントはHDD需要の低下で期初想定より大幅減少。

◆営業利益は前年より29%増の934億円

受動部品、フィルム応用製品が過去最高を更新し、HDDヘッドの下振れをカバー。さらなるHDD需要低下を見据えHDDヘッドでリストラを4Qに実施。

◆中期計画に沿って成長投資を実行

ICTから車載、産機向けビジネスの拡大へ

成長を加速する各種M&Aの実施。

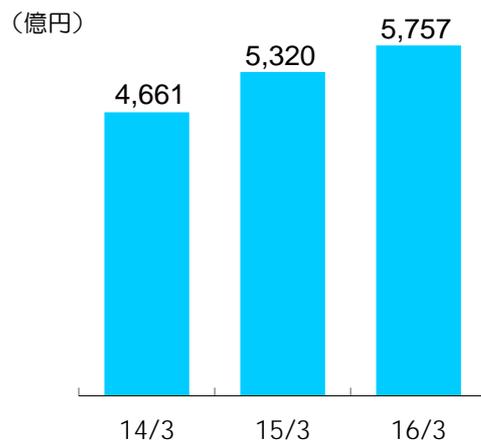
クアルコムとの業務提携・合併会社設立。更なる成長戦略製品拡大に向けた積極的投資の実行。

2016年3月期 連結業績概要

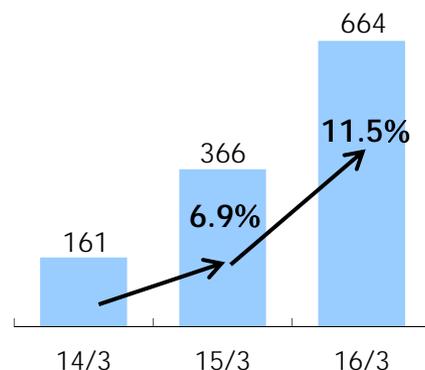
(億円)	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 通期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	10,826	11,523	697	6.4
営業利益	725	934	209	28.8
営業利益率	6.7%	8.1%		-
税引前利益	745	918	173	23.2
当期純利益	494	648	154	31.2
1株当たり利益(円)	392.78	514.23	-	-
為替	対ドルレート(円)	109.84	120.13	9.4%の円安
	対ユーロレート(円)	138.88	132.67	4.5%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約 853億円の増収 営業利益：約 173億円の増益			

2016年3月期 受動部品事業

売上高



営業利益(営業利益率)



売上高 5,757億円 (前期比8.2%増)
 営業利益 664億円 (前期比81.4%増)

●セラミックコンデンサ

- ・自動車市場向け販売が堅調に推移し前期比増収増益。

●インダクティブデバイス

- ・自動車市場向け販売が堅調に推移し前期比増収増益。

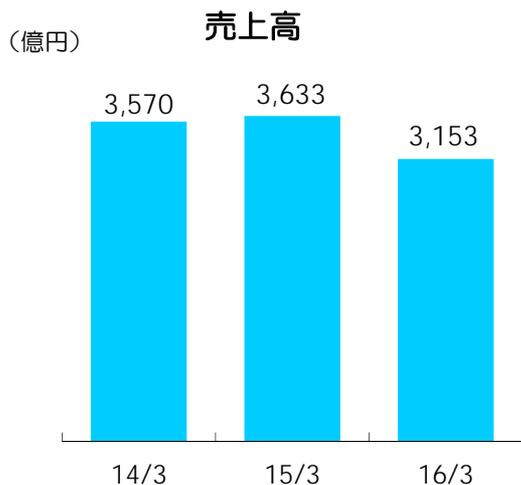
●高周波部品

- ・ICT市場向け販売が堅調に推移し前期比増収増益。
- ・生産性改善効果や品種構成の良化により利益率も前期より大幅に改善。

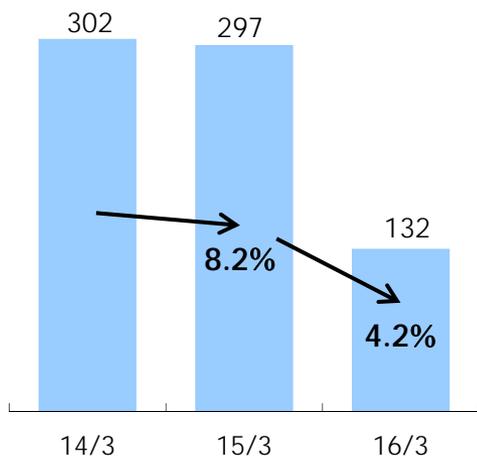
●圧電材料部品

- ・カメラモジュール用部品 (OIS) の販売増加により、前期比増収増益。

2016年3月期 磁気応用製品事業



営業利益(営業利益率)



売上高 3,153億円 (前期比13.2%減)

営業利益 132億円 (前期比55.6%減)

●記録デバイス

- ・HDD市場の縮小 (PC需要の減退やPCのSSD化加速)により、HDDヘッドの出荷数量が大幅に減少。前期比で大幅な減収減益。

●マグネット

- ・HDD市場向け販売減に加え、原油安や中国経済の減速により、自動車 (xEV*)及び産業機器市場向けの販売も減少。

●電源

- ・半導体製造装置、計測機器等の産業機器市場向け販売は引き続き堅調に推移

*xEV : EV, HEV, PHEV

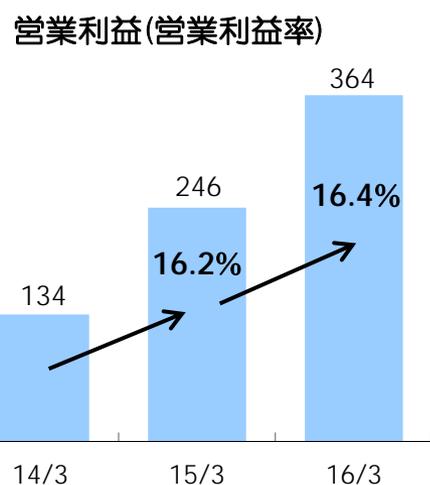
2016年3月期 フィルム応用製品事業



売上高 2,224億円 (前期比47.0%増)
 営業利益 364億円 (前期比48.0%増)

●エナジーデバイス (二次電池)

- 前期比大幅な増収増益。
- 主要顧客でのシェアアップと顧客ポートフォリオの拡大。
- ドローン等スマートフォン以外のアプリケーション向けの販売も堅調に推移。



2016年3月期 セグメント別通期実績

		2015年3月期 通期実績		2016年3月期 通期実績		対前年同期比				
		金額	%	金額	%	増減	増減率 (%)			
売上高		(億円)								
		コンデンサ	1,490	13.8	1,504	13.1	14	0.9		
		インダクティブデバイス	1,473	13.6	1,492	12.9	19	1.3		
		その他受動部品	2,358	21.8	2,761	24.0	403	17.1		
		受動部品合計	5,320	49.1	5,757	50.0	437	8.2		
		記録デバイス	2,605	24.1	2,198	19.1	△407	△ 15.6		
		その他磁気応用製品	1,028	9.5	955	8.3	△73	△ 7.1		
		磁気応用製品合計	3,633	33.6	3,153	27.4	△480	△ 13.2		
		フィルム応用製品合計	1,513	14.0	2,224	19.3	711	47.0		
		その他	359	3.3	388	3.4	29	8.1		
		合計	10,826	100.0	11,523	100.0	697	6.4		
		営業利益		受動部品	366	6.9	664	11.5	298	81.4
				磁気応用製品	297	8.2	132	4.2	△165	△ 55.6
フィルム応用製品	246			16.2	364	16.4	118	48.0		
その他	6			1.6	19	4.8	13	-		
小計	914			8.4	1,178	10.2	264	28.9		
全社および消去	△189			-	△244	-	△55	-		
合計	725			6.7	934	8.1	209	28.8		

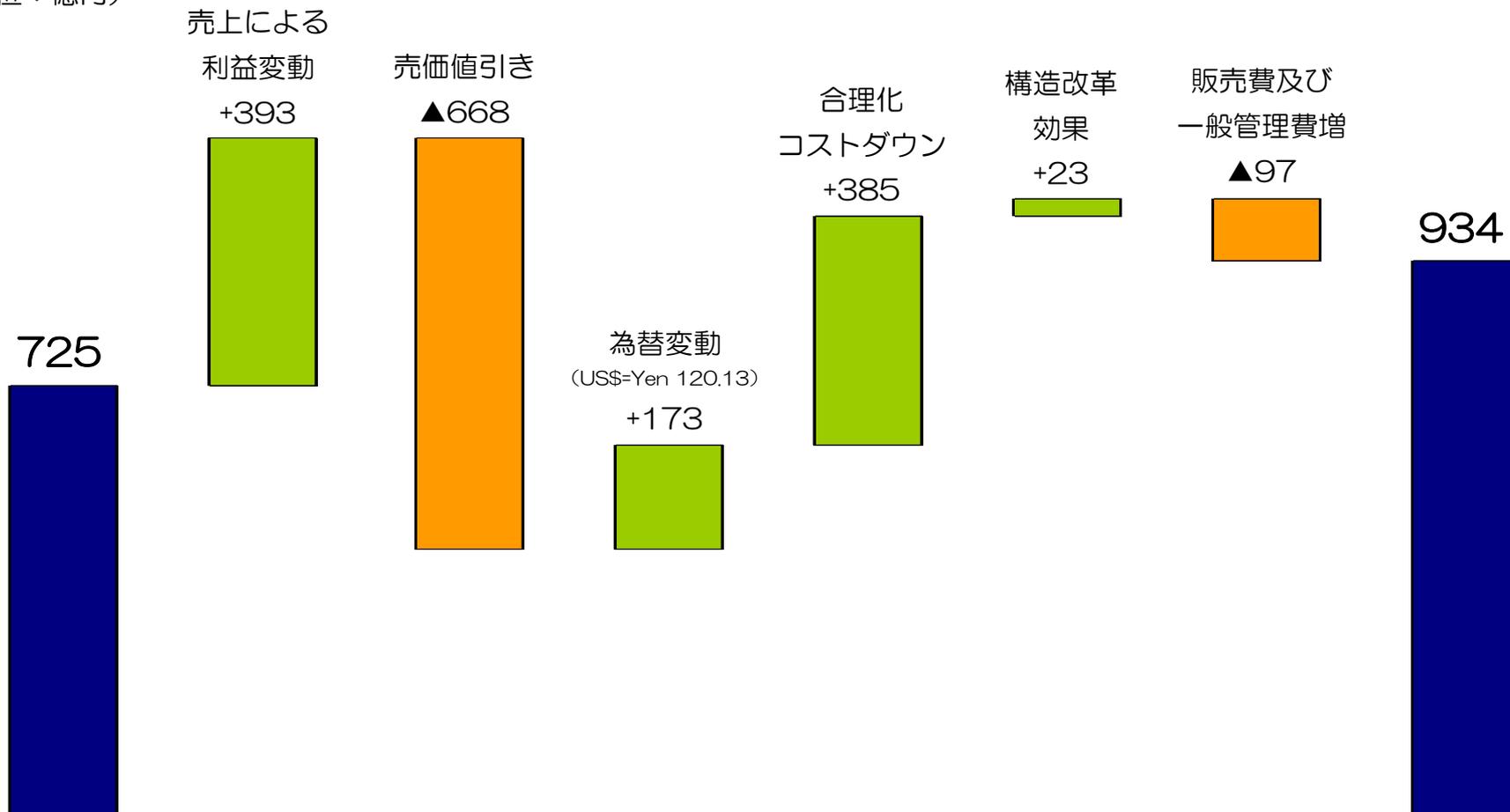
営業利益増減分析

2015年3月期
725億円

営業利益 +209億円

2016年3月期
934億円

(単位：億円)



2016年3月期 セグメント別四半期実績

(億円)		2015年3月期 第4四半期 (A)	2016年3月期 第3四半期 (B)	2016年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	376	364	354	△ 22	△ 5.9	△ 10	△ 2.7
	インダクティブデバイス	364	374	354	△ 10	△ 2.7	△ 20	△ 5.3
	その他受動部品	628	677	655	27	4.3	△ 22	△ 3.2
	受動部品合計	1,369	1,415	1,363	△ 6	△ 0.4	△ 52	△ 3.7
	記録デバイス	626	585	460	△ 166	△ 26.5	△ 125	△ 21.4
	その他磁気応用製品	259	233	229	△ 30	△ 11.6	△ 4	△ 1.7
	磁気応用製品合計	885	818	689	△ 196	△ 22.1	△ 129	△ 15.8
	フィルム応用製品合計	441	685	466	25	5.7	△ 219	△ 32.0
	その他	103	100	111	8	7.8	11	11.0
	合計	2,799	3,017	2,629	△ 170	△ 6.1	△ 388	△ 12.9
営業利益	受動部品	80	175	165	85	106.3	△ 10	△ 5.7
	磁気応用製品	63	47	2	△ 61	△ 96.8	△ 45	△ 95.7
	フィルム応用製品	94	146	54	△ 40	△ 42.6	△ 92	△ 63.0
	その他	6	△ 1	14	8	133.3	15	-
	小計	243	367	235	△ 8	△ 3.3	△ 132	△ 36.0
	全社および消去	△ 50	△ 64	△ 60	△ 10	-	4	-
	合計	194	303	175	△ 19	-	△ 128	△ 42.2
営業利益率	6.9%	10.0%	6.7%	△0.2pt	-	△3.3pt	-	
為替	対ドルレート (円)	119.21	121.41	115.46				
	対ユーロレート (円)	134.74	133.05	127.37				

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2016/4q_1.htm